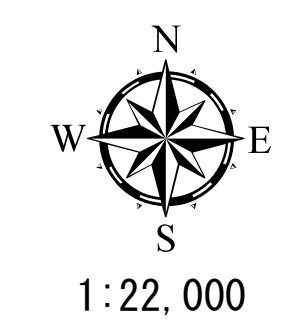
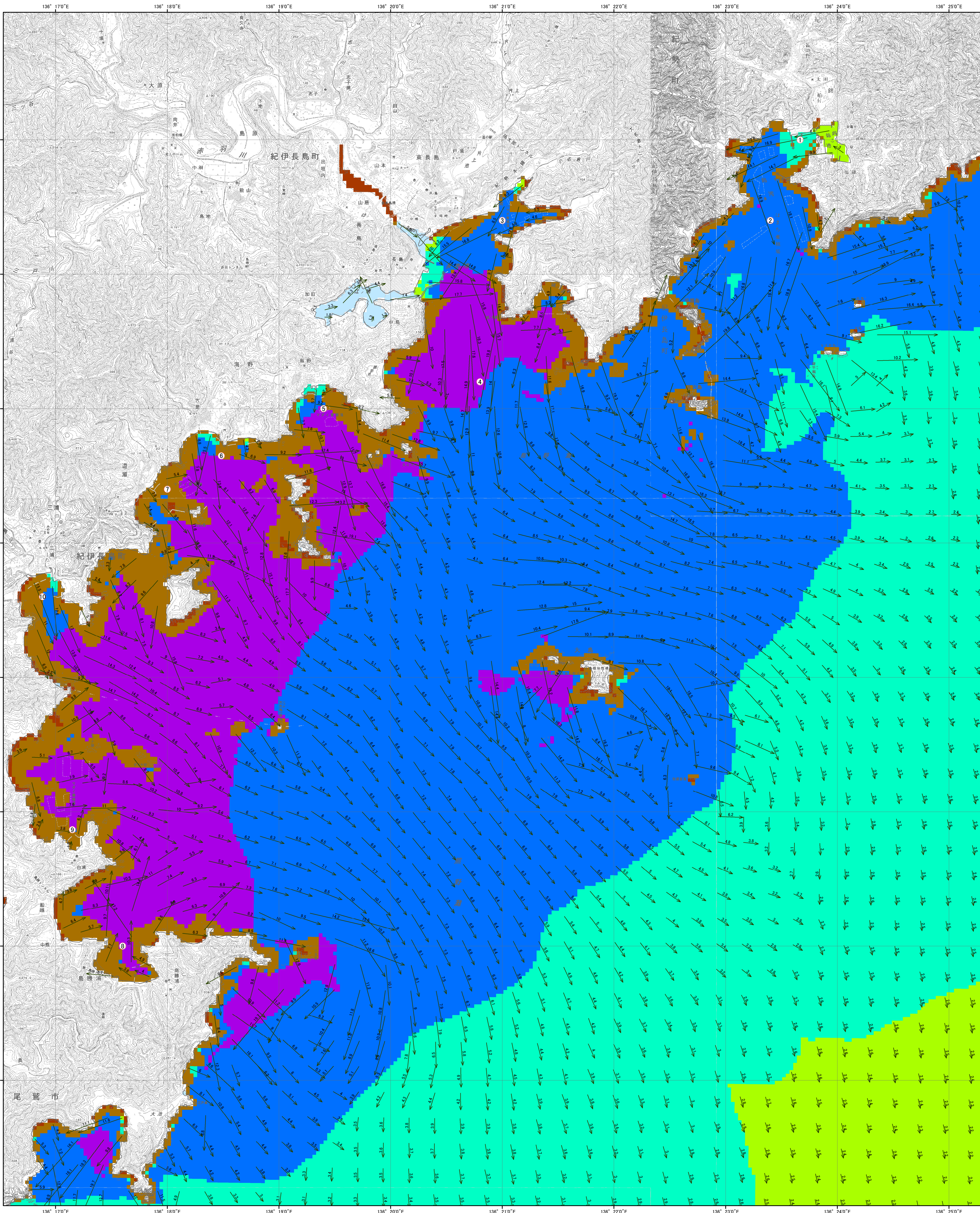


錦湾至島勝浦 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件: 最低水面(零位)
 隆起量: 平均 -81cm(-107cm ~ -35cm)
 Zo: 1.08m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



座標系: メルカトル図法
 測地系: 世界測地系 (WGS84)

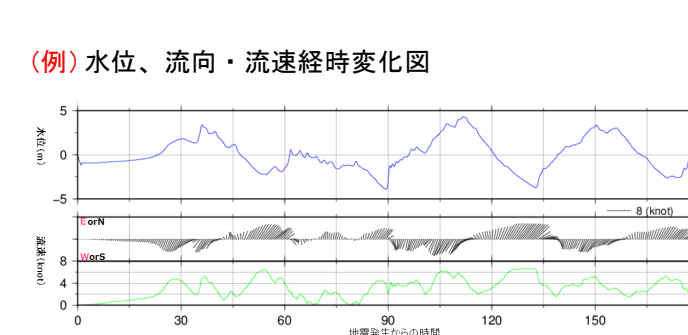
凡例

最大水位低下

- 10~最大16.9m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

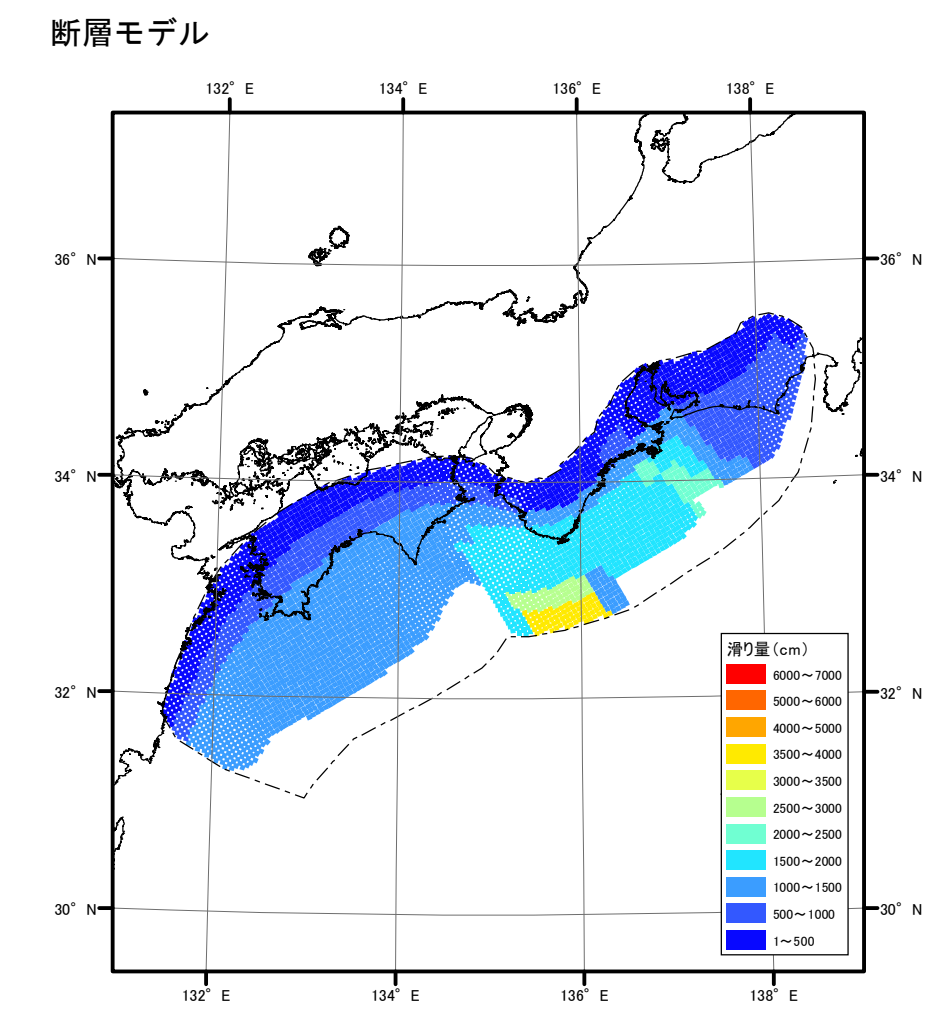


引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

断面モデル



ケース⑦「紀伊半島沖に『大すべり域+ (超大すべり域、分岐断層)』」	
断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	5.3 X 10 ²⁷
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告) 平成24年8月29日発表」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

